



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,895	19.8	2,451	26.4	2,399	26.6	1,251	9.3
2023年3月期第3四半期	5,757	23.8	1,939	8.8	1,894	8.4	1,144	15.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,252百万円 (9.4%) 2023年3月期第3四半期 1,144百万円 (15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	45.29	45.29
2023年3月期第3四半期	41.51	41.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	25,893	12,127	46.7
2023年3月期	21,607	10,983	50.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 12,100百万円 2023年3月期 10,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,307	19.8	3,354	21.7	3,196	18.7	1,728	2.6	62.57

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）遠州砕石株式会社、株式会社フレンドサニタリー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	27,773,500株	2023年3月期	27,773,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	115,162株	2023年3月期	170,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	27,633,591株	2023年3月期3Q	27,573,586株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化に向けて緩やかな回復傾向にあります。一方で、世界的に不安定な政情による資源価格の高騰や大幅な円安等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは既存事業の収益力強化を進めるとともに、成長基盤の強化を加速するための積極的なM&A投資を推進してまいりました。

まず、足元の事業状況としては、2027年3月期までの第1次中期経営計画に基づき、オーガニックグロースの実践、特に管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」における廃棄物受託量の確保に努めてまいりました。その結果、「奥山の杜クリーンセンター」をはじめとした各最終処分場における受託量は、外部環境の回復基調を受けた民間設備投資の持ち直し等を背景として好調に推移しました。また、原材料等の高騰に伴う処理費用の上昇に対しても、引き続き価格転嫁を押し進めることで、収益力の強化を図ることができました。

また、第2四半期連結会計期間末日（2023年9月30日）をみなし取得日とした遠州砕石株式会社（砕石製造業）、株式会社フレンドサニタリー（し尿収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業）の業績については、当第3四半期連結会計期間より経営成績へ反映しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,895百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は2,451百万円（同26.4%増）、経常利益は2,399百万円（同26.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,251百万円（同9.3%増）と増収増益を確保し、第3四半期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

最終処分場を運営する連結子会社の株式会社ミダックにおいて、管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」における受け入れ枠の拡大によって、建設業界との大型の取引を中心に廃棄物受託量は大きく増加しました。以上の結果、売上高は5,958百万円（同16.1%増）となり、セグメント利益は3,217百万円（同27.4%増）となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、物価高騰に伴う価格改定を押し進めたことで受託単価は向上し、売上高は安定して推移しました。一般廃棄物においては、新型コロナウイルス感染症における感染症法上の分類移行を受け、飲食店等から排出される一般廃棄物の回収量は増加傾向にあったほか、新規開拓にも注力した結果、受託量は増加しました。また、2023年9月に連結子会社となった株式会社フレンドサニタリーの業績も反映されたことで、売上高は前期実績よりも増加しました。以上の結果、売上高は831百万円（同56.8%増）となり、セグメント利益は141百万円（同119.8%増）となりました。

③ 仲介管理事業

大型工事案件等によって、協力会社への仲介も安定して推移しました。以上の結果、売上高は91百万円（同1.6%減）となり、セグメント利益は63百万円（同13.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,614百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加額1,352百万円等によるものであります。また、固定資産は16,445百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,671百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額1,915百万円、のれん等無形固定資産の増加額341百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、25,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,286百万円増加しました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,524百万円増加しました。これは主に、短期借入金の増加額2,800百万円等によるものであります。また、固定負債は7,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ617百万円増加しました。これは主に、役員退職慰労引当金の増加額758百万円、長期借入金の減少額282百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、13,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,142百万円増加しました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,143百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,251百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額1,114百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2024年2月14日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,540,406	7,893,287
受取手形及び売掛金	968,534	1,248,916
棚卸資産	92,548	77,907
その他	233,865	231,002
貸倒引当金	△1,384	△2,798
流動資産合計	7,833,970	9,448,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,070,317	1,080,996
機械装置及び運搬具（純額）	604,867	725,495
最終処分場（純額）	5,175,517	4,951,614
土地	2,851,551	4,581,169
建設仮勘定	1,898,153	2,177,653
その他（純額）	73,625	72,823
有形固定資産合計	11,674,033	13,589,752
無形固定資産		
のれん	934,520	1,287,663
施設設置権	120,300	90,225
その他	33,405	51,610
無形固定資産合計	1,088,225	1,429,499
投資その他の資産		
繰延税金資産	280,499	624,997
その他	730,834	801,019
投資その他の資産合計	1,011,334	1,426,017
固定資産合計	13,773,592	16,445,269
資産合計	21,607,562	25,893,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,449	56,759
短期借入金	1,290,000	4,090,000
1年内償還予定の社債	16,000	—
1年内返済予定の長期借入金	994,657	986,046
未払法人税等	489,389	382,010
未払金	525,731	457,168
賞与引当金	98,582	59,975
その他	462,891	422,558
流動負債合計	3,929,701	6,454,517
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,528,913	5,246,657
繰延税金負債	—	85,772
退職給付に係る負債	—	1,561
役員退職慰労引当金	—	758,000
最終処分場維持管理引当金	795,238	857,919
資産除去債務	112,505	112,530
その他	57,306	48,820
固定負債合計	6,693,963	7,311,261
負債合計	10,623,664	13,765,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,934,175	4,905,514
利益剰余金	6,093,745	7,208,097
自己株式	△152,190	△103,286
株主資本合計	10,965,730	12,100,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	457
その他の包括利益累計額合計	—	457
新株予約権	18,167	27,021
純資産合計	10,983,897	12,127,805
負債純資産合計	21,607,562	25,893,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,757,107	6,895,404
売上原価	2,404,702	2,709,404
売上総利益	3,352,405	4,185,999
販売費及び一般管理費	1,412,405	1,734,780
営業利益	1,939,999	2,451,219
営業外収益		
受取利息	110	315
不動産賃貸料	9,753	11,012
固定資産売却益	8,079	6,021
その他	8,783	6,663
営業外収益合計	26,727	24,013
営業外費用		
支払利息	61,484	63,602
その他	10,396	12,027
営業外費用合計	71,881	75,629
経常利益	1,894,845	2,399,602
税金等調整前四半期純利益	1,894,845	2,399,602
法人税等	750,202	1,147,940
四半期純利益	1,144,643	1,251,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,144,643	1,251,662

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,144,643	1,251,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	457
その他の包括利益合計	—	457
四半期包括利益	1,144,643	1,252,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144,643	1,252,119

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月28日に当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式49,305株を処分いたしました。2023年8月30日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月22日に当社の子会社取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式5,850株を処分いたしました。その結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が28,660千円、自己株式が48,904千円ともに減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金が4,905,514千円、自己株式が103,286千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,133,730	530,423	92,952	5,757,107	—	5,757,107
外部顧客への売上高	5,133,730	530,423	92,952	5,757,107	—	5,757,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	176,189	6,993	7,449	190,632	△190,632	—
計	5,309,920	537,417	100,402	5,947,739	△190,632	5,757,107
セグメント利益	2,525,894	64,450	55,963	2,646,308	△706,308	1,939,999

(注) 1. セグメント利益の調整額△706,308千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,958,723	831,443	91,476	6,881,642	13,761	—	6,895,404
外部顧客への売上高	5,958,723	831,443	91,476	6,881,642	13,761	—	6,895,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	266,118	7,089	11,923	285,132	103	△285,235	—
計	6,224,841	838,532	103,400	7,166,774	13,865	△285,235	6,895,404
セグメント利益	3,217,833	141,642	63,311	3,422,786	△10,334	△961,232	2,451,219

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△961,232千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。